



徳成寺

寺誌 かわら版

第213号 2024年9月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

近頃、人工知能が発達してスマホ一台あれば、どの国に

行っても不便を感じないと聞きました。翻訳機能が付いて

いるので、スマホ越しに用件を伝えることが十分出来るのだとか。

確かに、何かを注文したりするのは困らないかもしれませんが、

お互いの距離を縮められるかと言うと、人工知能には出来ないのでは

ないでしょうか。人間が言葉を使うのには、ああでもないこうでもない

言葉を駆使して、お互いを理解し合い距離を縮めるためだと思うのです。

私がこうして毎月毎月、何かを言葉に表現しているのも、私たちと仏様との

距離を少しでも縮めて身近に感じ取って頂きたいと願うからです。特に浄土真宗の

場合、自分をやめて仏様に近づくのではありません。深く重い業を背負った生身の

自分に立ち帰る事で仏様に会えるのです。妄念を破って仏様との距離を縮めましょう。

発行責任者

住職

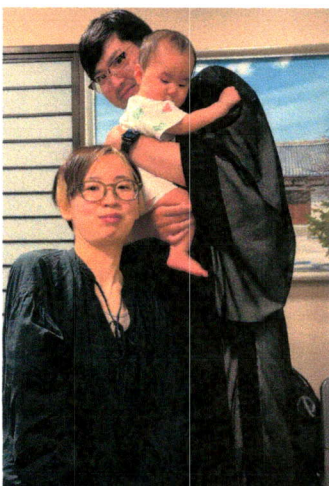
大山健児

坊守

大山ひとみ



大山超世の耳を澄ませば



お世話になっております、副住職です。お盆でお世話になったご門徒の皆様ありがとうございました。さて、去年は親鸞聖人お誕生 850 年の節目の年であり、四国でも来年 3 月にお祝いの慶讃法要をお勤めする事になりました。開催に先立ってテーマの周知を兼ねた聞法会「真宗講座」が開かれます。縁があり、講師をする事になりましたのでお知らせ致します。9/30 (月) 13:00~ 高松市御坊町 1-15 四国会館 2F 会費 500 円 TEL 087-821-3269 予約不要でどなたでもご参加できます。これまで門徒さんから聞いてきた事を中心に自分なりに教えについての理解を話していきたいと思います。顔見知りの方がいると大変心強いので是非聴聞にお参り下さい。写真はお盆参りが終わり家族で食事会をした時の写真です。お陰様ですくすく育てております。お参りの際にはたくさんの門徒さんに娘の成長を気にかけて頂き大変うれしく思います。これからもよろしくお願ひします。